

当社独自開発最高級屋根下地材

# 日本一シリーズ



特殊合成樹脂・三重構造  
住む人、建てる人の意向が創り出した屋根下地材

(財)住宅保証機構 高分子系ルーフィング登録商品  
(株)日本住宅保証検査機構 確認番号 09-1-9-0118

## 製品について

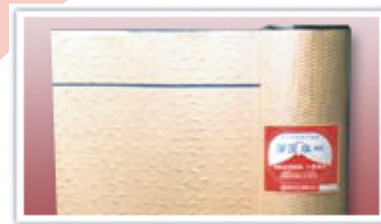
### 日本一



規格：1m x 21m x 1mm

従来よりのヒット商品。滑りにくく、安全性に富み、価格も手頃で「日本一」の愛称で広く皆様に愛用されております。

### 新日本一



規格：1m x 21m x 1mm

木ズリの長さを伸ばすことにより、双方向からの施工を可能にし、数を増やすことにより、一層の遮水性を実現しました。

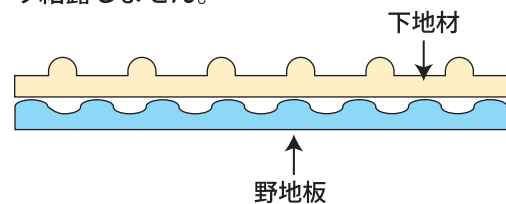
## 日本一シリーズの6つの特徴

### Point.1 耐候性

寒暖による変形が無く、野地板と下葺材の間が通気性に優れている為、蒸れが無く野地板(コンパネ等)も下葺材も半永久的に長持ちします。

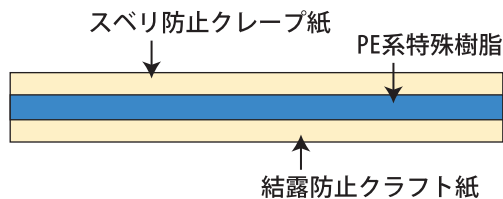
### Point.2 結露防止

他社の下葺材と異なり、裏面に凹凸があるので、野地板との間が密着せず通気性があり結露しません。



### Point.3 遮水性

下地材に特殊な方法で、高さ1.5ミリ・幅8ミリの棒状の峰が縦に入っており、瓦棧を浮かすので、風の向きにより瓦の下に吹き込む雨水が直ぐ流下します。また、瓦棧を打つ釘は此の峰に打つので針穴から雨水が染み込むことがなくなります。



### Point.4 安定性

特殊配合樹脂を使用。表裏を密着させ、施工中、屋根勾配のため滑らぬよう、表面に凹凸がありますので、安心して屋根の施工ができます。収縮しにくい明白な上紙を使用しましたので、他社製品と比較して墨打ちが容易に行えます。

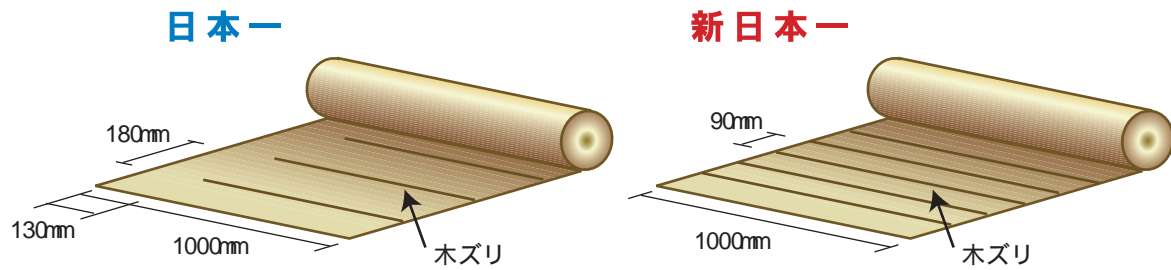
### Point.5 施工性

他社製品に比べて互棧の安定性が良く、それにより瓦の安定性も格段に増します。

### Point.6 特長

夏期でもベタツキや、いやな臭いもしないので施工において安心して作業ができます。

❖ 日本一と新日本一との相違点



❖ 性能試験結果

日本一

(財) 建材試験センター (試験成績書第 54838号)

試験項目	長手	幅	準拠規格	試験条件
引張強度 kgf/cm	11.1	9.1	JIS A 6013 6.5 引張性能	引張速度：100mm/min 標線間距離：100mm
伸 %	7.0	8.0	JIS A 6013 6.5 引張性能	引張速度：100mm/min 標線間距離：100mm
引裂強度 kgf	8.4	7.8	JIS A 6013 6.6 引裂性能	引裂速度：100mm/min つかみ間隔：50mm
針穴 シーリング性	漏水なし			水頭：150mm 試験時間：24時間
寸法安定性 (収縮量 m/m)	外観	異常なし	JIS6022 折曲げ性能	試験温度 60 で 168時間加熱後、 外観を観察し、寸法を測定。
	0.8	0.9		
折曲げ	10体とも亀裂なし		JIS6022 折曲げ性能	試験温度：0 マンデル直径：15mm

新日本一

(財) 建材試験センター (受付第 00A0733号)

試験項目	長手	幅	準拠規格	試験条件
引張強度 N/cm	61.7	47.2	JIS A 6013 6.5 引張性能	引張速度：100mm/min 標線間距離：100mm
伸 %	11.3	22.1	JIS A 6013 6.5 引張性能	引張速度：100mm/min 標線間距離：100mm
引裂強度 N	67.5	55.2	JIS A 6013 6.6 引裂性能	引裂速度：100mm/min つかみ間隔：50mm
針穴 シーリング性	漏水なし			水頭：150mm 試験時間：24時間
寸法安定性 (収縮量 m/m)	外観	異常なし	JIS6022 折曲げ性能	試験温度 60 で 168時間加熱後、 外観を観察し、寸法を測定。
	1.0	1.2		
折曲げ	10体とも亀裂なし		JIS6022 折曲げ性能	試験温度：0 マンデル直径：15mm

取扱上のご注意

- ・火器類を近づけないで下さい。
- ・瓦屋根下葺き用途には、キズリテープ・ウォーターチャンネル・瓦棧等との併用でのご使用を推奨致します。
- ・天候の悪い日の作業は大変危険ですので、絶対に行わないで下さい。
- ・勾配のきつい場所では、安全を確保してから作業を行って下さい。
- ・葺き替え工事の際には、養生シートを必ず使用して下さい。